

平成26年度 加茂市外国語活動部 活動報告

部長 成田 憲司

1 研究主題

「授業に使える活動のヒントⅡ」

2 研究の概要

期日 8月26日(火)

会場 新潟経営大学(マルチメディア講義室)

講師 新潟経営大学 教授 山本 淳子 先生

外国語活動が完全実施となって4年目であるが、「英語に自信がない。」
「どうやって授業を組み立てたらよいか、わからない。」「子どもたちへの
支援がうまくいかない。」など、教師側の悩みが多い。そこで、前回に引
き続き、新潟経営大学教授の山本淳子先生から、日々の授業に生かせる
様々な活動を紹介していただき、授業のシミュレーションを行った。

3 研究の実際

○ 山本先生の実践から学んだこと

文部科学省の指針では、今後、外国語活動の開始が中学年からになり、高学年においては「読む」・「書く」といったコミュニケーション能力の基礎を養うことが求められるようになるという。

山本先生は、授業コーディネーターとして、小学校の外国語活動の英語教育に携わり、その時の対象児童64人に「読み書き練習をすると英語をより覚えられますか?」と尋ねた。すると、「わからない」や「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」といった回答を抑え、「とてもそう思う」や「そう思う」といった肯定的な回答が82%もあったそうだ。その理由として、「書いた方が脳に刺激が送られる。」や「書いた方が記憶に残るし、分からない時にすぐに見られて便利。」のように、「書く」・「分かる」という言葉がキーワードとして挙げられていたという。

今後、「なぞり書き」のように児童が負荷を感じない程度のワークシートを使って書く活動を行ったり、児童の興味をそそる活動(映画のフレーズ練習、ゲーム)を通して話す活動を行ったりし、コミュニケーション能力の基礎を養うことが重要であると感じた。

○ 紹介していただいた「授業に使えるヒント」(一部)

① Classroom English

「How are you today?」への受け答えは、「I'm good. / I'm OK. / I'm great. / I'm happy. / I'm pretty good. / Not bad.」などのように、多様化を図るとよい。

② Screen English(桃太郎の劇に使える「Toy Story」の台詞)

みんな!(Guys!) / やったー、やったー!(We did it, we did it!) / 僕は飛べる!(I can fly.)



4 成果と課題

英語教育に関わった山本先生の実践内容やその分析を紹介していただいた後、「授業に役立つヒント」を模擬授業形式で教えていただいた。英語での自己紹介、子どもたちが興味をもちそうなゲーム、教師としての子どもへの声掛け例など、どれも明日からの授業に即役立つようなものばかりで、たくさんのヒントを授かった。

教えていただいた活動や手法をたくさん取り入れ、「グローバル化に対応した英語教育改革」に迫っていきたい。